

研究開発法人についての共通調査票

NO.	46	所管	厚労省	法人名	独立行政法人医薬基盤研究所	職員の身分	非国家公務員
-----	----	----	-----	-----	---------------	-------	--------

1. 研究職員数の推移について

	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤
研究職員（うち外国人）（4/1現在）	90（4）	42（1）	48（3）	87（4）	42（1）	45（3）	81（4）	45（1）	36（3）
うち任期付（うち外国人）	21（1）	21（1）		19（1）	19（1）		21（1）	21（1）	
うち非任期付（うち外国人）	21（0）	21（0）		23（0）	23（0）		24（0）	24（0）	
全職員に対する研究職員の割合（外国人）	37%（80%）	53%（100%）	29%（75%）	34%（80%）	55%（100%）	25%（75%）	31%（67%）	56%（100%）	19%（60%）
（参考）全職員数（うち外国人）	245（5）	79（1）	166（4）	257（5）	76（1）	181（4）	265（6）	80（1）	185（5）

2. 研究職員の処遇について

（1）年俸制

	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤
年俸制研究職員（うち外国人）（4/1現在）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
うち任期付（うち外国人）	0（0）	0（0）		0（0）	0（0）		0（0）	0（0）	
うち非任期付（うち外国人）	0（0）	0（0）		0（0）	0（0）		0（0）	0（0）	
全研究職員に対する年俸制研究職員の割合（うち外国人）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）

（2）業績給

	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤
業績給研究職員（うち外国人）（4/1現在）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
うち任期付（うち外国人）	0（0）	0（0）		0（0）	0（0）		0（0）	0（0）	
うち非任期付（うち外国人）	0（0）	0（0）		0（0）	0（0）		0（0）	0（0）	
全研究職員に対する業績給研究職員の割合（うち外国人）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）

（3）混合給与

	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤		うち常勤	うち非常勤
混合給与研究職員（うち外国人）（4/1現在）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）	0（0）
うち任期付（うち外国人）	0（0）	0（0）		0（0）	0（0）		0（0）	0（0）	
うち非任期付（うち外国人）	0（0）	0（0）		0（0）	0（0）		0（0）	0（0）	
全研究職員に対する混合給与研究職員の割合（うち外国人）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）	0%（0%）

（4）その他（研究職員の処遇に関し講じている施策があれば記述）

給与については、国家公務員に準じた給与体系となっている。

3. 研究職員の人件費の財源について（単位：百万円）

	平成22年度<実績ベース>	平成23年度<実績ベース>	平成24年度<実績ベース>
研究職員人件費	517	579	538
運営費交付金（研究職員人件費に占める割合）	517（100%）	579（100%）	538（100%）
運営費交付金以外（研究職員人件費に占める割合）			
（内訳）	（ ）	（ ）	（ ）
（参考）総人件費	1,425	1,427	1,403

NO.	46	所管	厚労省	法人名	独立行政法人医薬基盤研究所	職員の身分	非国家公務員
-----	----	----	-----	-----	---------------	-------	--------

4. 研究開発業務について

(1) 法人が行っている研究開発業務について、国家戦略（閣議決定レベルのものに限る。）との関係について

新成長戦略（平成22年6月18日閣議決定）、第4期科学技術基本計画（平成23年8月19日閣議決定）及び革新的医薬品・医療機器創設のための5か年戦略（平成19年4月26日関係大臣申合せ）に基づき、研究開発独立行政法人として、国の政策課題の解決に向けて組織的に研究開発に取り組むこととしており、より有効で安全な医薬品、医療機器の開発を支援する法人として、①医薬品等の基盤的技術研究 ②難病・疾患資源研究 ③医薬品等の研究開発振興の3つの事業を行い、民間企業、大学等における新たな医薬品・医療機器の開発を目指した研究開発を支援している。

また、日本再興戦略（平成25年6月14日閣議決定）及び健康・医療戦略（平成25年6月14日関係大臣申合せ）において、大学等の基盤的研究成果を革新的医薬品として実用化に導くため、医薬基盤研究所に設置した創薬支援戦略室が本部機能を担い、理化学研究所、産業技術総合研究所等の連携による創薬支援ネットワークを日本版NIHIに先行して構築し、新薬創出に向けた研究開発を支援するとされたところである。

(2) 法人の研究開発活動に対する国際的ベンチマーク

※ 過去3年以内に該当するものがあれば記入

① 論文指標

ア 被引用数

	世界順位	国内順位	出典
総合	位	位	
分野別)			
	位	位	
	位	位	
	位	位	

イ 論文数

	世界順位	国内順位	出典
総合	位	位	
分野別)			
	位	位	
	位	位	
	位	位	

※医薬基盤研究所における論文の被引用数や論文数について、世界順位、国内順位を示したものは無い。

② その他の指標

(3) 研究開発業務についての評価の具体的手法について

(例：第三者（外国人を含む）による評価、国際指標に基づく評価 等)

設立以来、外部の専門家にて構成される運営評議会及び外部研究評価委員会を開催しており、これらによる外部評価の仕組みを活用し、案件の重点化を図っている。

また、運営評議会については、公開で行うことにより手続きの透明化を図っている。

(4) 研究開発業務の評価結果を踏まえた取り組みについて

(例：次期の研究開発活動の予算配分に際し、予算の上乗せを行っている 等)

翌年度の研究開発活動の予算配分に際し、予算の上乗せを行っている。